

1. データ送受信処理方式 と接続形態

1. データ送受信処理方式と接続形態

1.1 データ送受信処理方式

NACCS では、データ送受信処理方式として、インタラクティブ処理方式と、メール処理方式を採用する。これらの処理方式のイメージを、図 1-1-1 に示す。

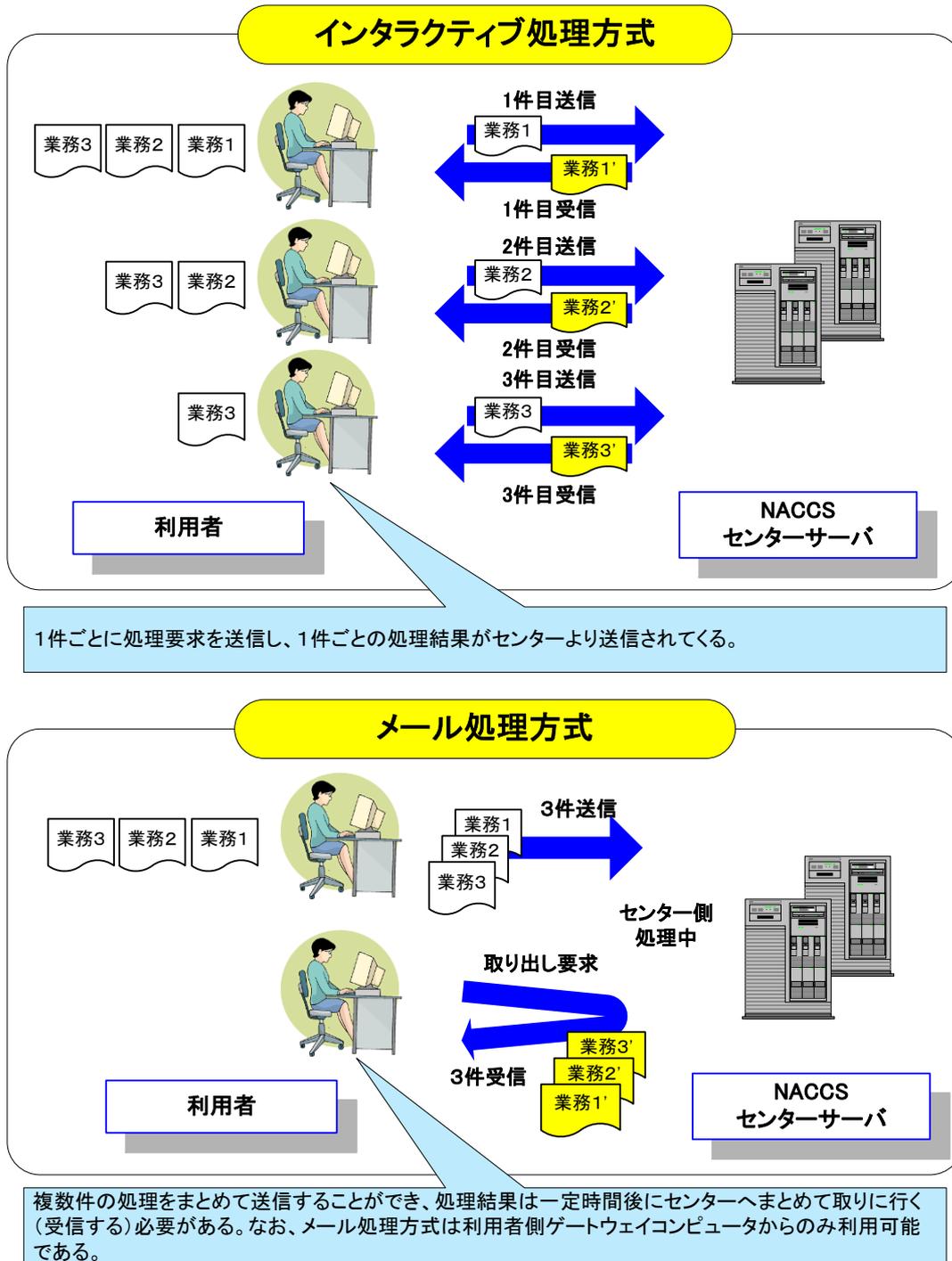


図 1-1-1 インタラクティブ処理方式とメール処理方式

1.1.1 インタラクティブ処理方式

NACCS のインタラクティブ処理方式は、インタラクティブ処理方式（パソコン用パッケージソフトを使用）、インタラクティブ処理方式（SMTP 双方向）、WebNACCS 処理方式（Web ブラウザを使用）及びインタラクティブ処理方式（ebMS）がある。

1.1.1.1 インタラクティブ処理方式（パソコン用パッケージソフトを使用）

(1) インタラクティブ処理方式（『パッケージソフト インタラクティブ処理方式』を使用）

利用者側パソコンと NACCS センターサーバを、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を HTTP で接続する処理方式。

1 件ずつ電文を送受信する。

なお、以降は本処理方式をインタラクティブ処理方式(インタラクティブ)とする。

(2) インタラクティブ処理方式（『パッケージソフト netNACCS 処理方式』を使用）

利用者側パソコンと NACCS センターサーバを、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を HTTPS で接続する処理方式。インタラクティブ処理方式のインターネット版である。

1 件ずつ電文を送受信する。

なお、以降は本処理方式をインタラクティブ処理方式(netNACCS)とする。

1.1.1.2 インタラクティブ処理方式 SMTP 双方向（ゲートウェイコンピュータを使用）

利用者側と NACCS センターサーバの双方に SMTP サーバを設置し、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を SMTP で接続する処理方式。

1 件ずつ電文を送受信する。

なお、以降は本処理方式をインタラクティブ処理方式(SMTP 双方向)とする。

! 『パッケージソフト ~処理方式』は、NACCSセンターが提供するパソコン用パッケージソフトの種類を示す。パソコン用パッケージソフトの種類／機能の詳細は「**NACCS** 兵冊 パッケージソフト操作説明書」を参照すること。

1.1.1.3 WebNACCS 処理方式 (Web ブラウザを使用)

利用者側パソコンと NACCS センターサーバを、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を HTTPS で接続する処理方式。

利用者パソコンの Web ブラウザから、NACCS センター Web サーバにアクセスし、表示される業務画面への入力や、ボタンの押下等のアクションにより業務を実施し、また処理結果画面が表示される。

なお、以降は本処理方式を WebNACCS 処理方式 (Web ブラウザを使用) とする。

1.1.1.4 インタラクティブ処理方式 ebMS(ゲートウェイコンピュータを使用)

利用者側 ebMS サーバと NACCS センターサーバを、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を HTTPS で接続し、ebMS2.0 で送受信処理を行う方式。ebMS2.0 のマルチペイロード機能を採用することにより、複数件の処理をまとめて送信することができる。

なお、以降は本処理方式をインタラクティブ処理方式 (ebMS) とする。

1.1.2 メール処理方式

NACCS のメール処理方式は、メール処理方式 (ゲートウェイコンピュータを使用) のみ利用可能である。

1.1.2.1 メール処理方式 (ゲートウェイコンピュータを使用)

利用者側ゲートウェイコンピュータと NACCS センターサーバを、ネットワーク・トランスポート層に TCP/IP、その上位層を SMTP/POP3 で接続する処理方式。

複数件の処理をまとめて送信することができ、処理結果は一定時間後に NACCS センターサーバへ一括して取りに行く (受信する) 必要がある。

NACCSにおけるデータ送受信処理方式の概要を図 1-1-2 に示す。

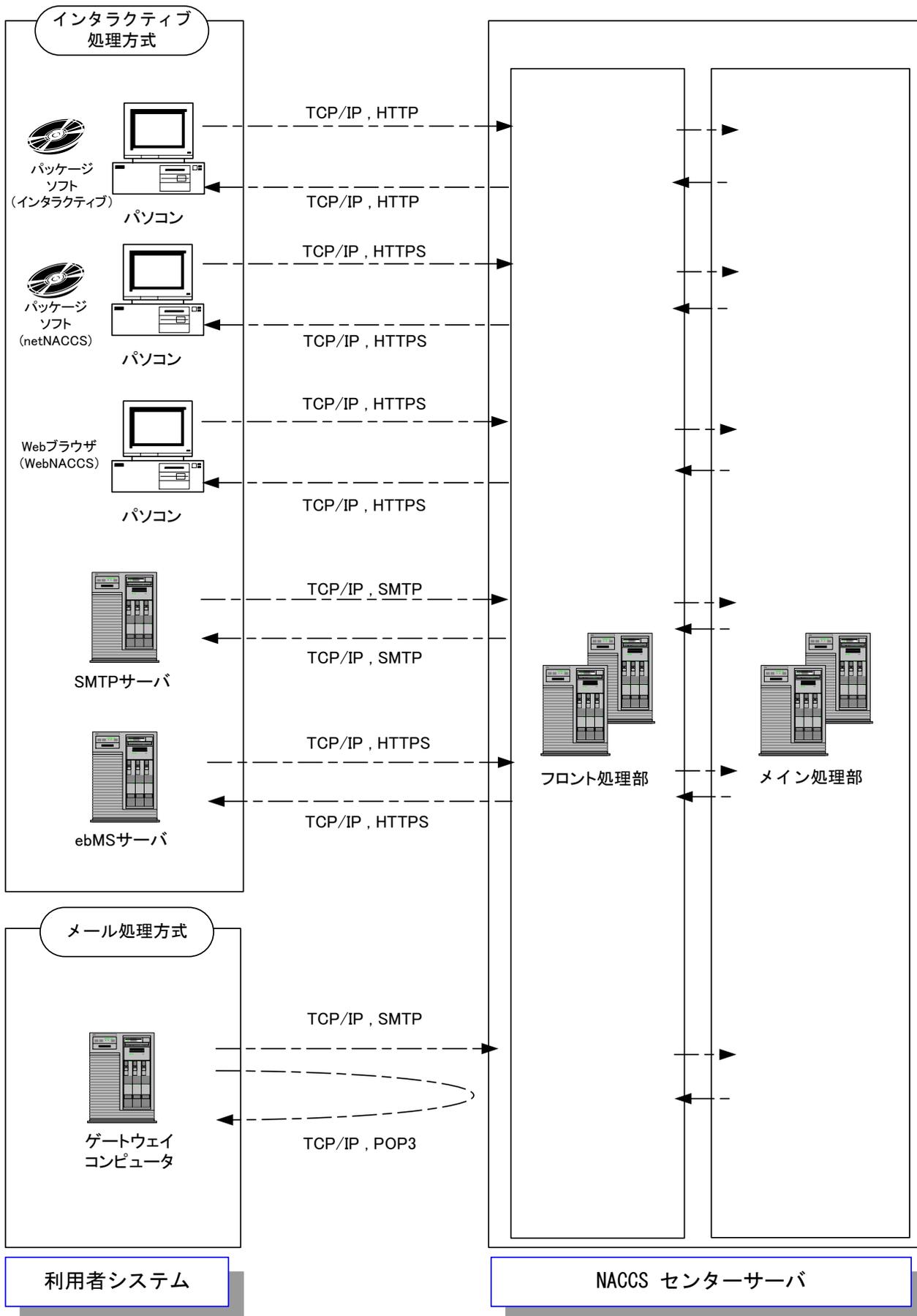


図1-1-2 NACCSにおけるデータ送受信処理方式の概要